



2011年7月6日

総工 GP プロジェクト

## 教育 GP ニュース 第 20 号

### 1) 平成 23 年度 卒業製作企画発表会 (総工 IV : 土井准教授)

本年度の総合工学実験実習 IV は、昨年度・一昨年度とは異なり、年度当初行っていた全体実験(プロジェクト活動に関連する 6 テーマの工学実験:6 週)を基礎技術講義 1.5 週間(計画では 1 週間であったが健康診断実施により計画からの大幅な遅れが生じたため)、プロジェクト結成討議 1.5 週およびプロジェクト活動 2 週に実施形態を改めた。それに伴い、6 月上旬に企画発表会、6 月下旬に中間発表会を実施し、夏休みまでに材料発注ができる年間計画とした。

6 月 2 日(木)は、その企画発表会を 13:20~16:00 に本校図書館視聴覚大ホールにおいて実施した。企画発表会は、地元企業の経営者で組織される NPO 法人北河内エコエナジー(C-KEEP)から、理事長の株式会社 互光製作所 代表取締役 三原啓次郎様をはじめ、株式会社 ハマックス 執行役員 川原畑浩様、株式会社 エイワット 代表取締役 柴田政明様にコメンテータとしてお越し頂いた。この企画発表会は、発表するプロジェクトメンバーとコメンテータ 3 名、担当教員 13 名で聴講し評価した。なお、発表以外は、各プロジェクト活動時間とした。



全 12 プロジェクトが発表を終了する時間に大ホールに 5 年生全員が参集し、3 名のコメンテータから

図 1 全 PJ 発表会後に C-KEEP 三原理事長からの講評の様子

講評をいただき、企画発表会を終えた。以下に、コメンテータおよび教員の各 PJ に対する評価を示す。コメンテータのほうが教員より高い評価となっている。なお、PJ2、PJ4 および PJ6 はその傾向がより顕著であることがわかる。別途頂いたコメントより、商品価値やコンセプトがしっかりしているテーマに対して評価が高くなっているように思われる。

